令和７年度第１回

新千歳空港の２４時間運用を巡る千歳市地域協議会

議　　事　　録

日　時：令和７年８月３０日（土）１０時００分開会
場　所：千　歳　市　総　合　福　祉　セ　ン　タ　ー

令和７年度第１回　新千歳空港の２４時間運用を巡る千歳市地域協議会

・日　時　令和７年８月３０日（土）１０：００～１１：０３

・場　所　千歳市総合福祉センター　４０２号室

・議　題

（１）新千歳空港における最近の動向について

（２）令和６年度航空機騒音測定結果等について

（３）住宅防音対策の進捗状況等について

（４）地域振興対策の進捗状況等について

（５）新千歳空港周辺地域振興基金について

（６）その他

◎地域委員　出席者（２２名）

◎北海道（６名）

◎千歳市（６名）

◎公益財団法人　新千歳空港周辺環境整備財団（３名）

◎オブザーバー（１名）

１．開　　会

●千歳市（空港政策課長）　皆さん、おはようございます。

定刻となりましたので、始めさせていただきます。

着座にて失礼します。

それでは、ただいまより、令和７年度第１回、通算５９回目となります新千歳空港の２４時間運用を巡る千歳市地域協議会を開会いたします。

本日の協議会は、お手元に配付しております次第に沿って進めてまいります。

２．挨　　拶

●千歳市（空港政策課長）　初めに、北海道総合政策部交通企画監よりご挨拶を申し上げます。

●北海道（交通企画監）　ありがとうございます。

皆様方には、日頃から、道政、そのほか、まさに新千歳空港の運用に関して非常に深いご理解とご協力を賜りましていることに重ねてお礼を申し上げます。

先頃、新聞報道等にもありましたけれども、今の新千歳空港の利用状況に鑑みますと、旺盛な観光需要、さらには、コロナ禍が明けて、国際線も堅調に回復していることを踏まえまして、開港以来、最高の利用者があったというような報道もあったところでございます。

私どもも、今の空港の現状を鑑みますと、新千歳空港の役割が非常に高まっているなということを肌身で感じるところでありますけれども、我々がこうした認識に立てるのも、今日お集まりいただきました皆様のご理解、ご協力、さらには、お隣にいますけれども、千歳市さん、ＨＡＰさん、関係団体、こういった多くの方々の理解とか協力があって、私ども道としては、そういった認識に立てるのかなと思っています。

本日この場で、これまで過去、平成２７年ですか、皆様とお約束した様々な取組についての取組状況、これを中心にご報告させていただきますが、私ども新千歳空港を核とした、やっぱり全道含めて、空港の活性化、さらには地域振興、こういうものをしっかり取り組むためには、まず皆様方との取組、これにしっかり取り組んでいく、これを責任持って対応していくことが全てだと思っておりますので、今日、様々なご意見をいただいて、少しでも皆様のご懸念、ご不安、こういったものが早期に解消できるよう、引き続き道としてしっかり取り組んでまいりたいと思っていますので、本日はどうぞよろしくお願いします。

ありがとうございます。

●千歳市（空港政策課長）　続きまして、千歳市副市長よりご挨拶を申し上げます。

●千歳市（副市長）　皆さん、おはようございます。

本日は、大変ご多忙なところ、本千歳市地域協議会にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃から２４時間運用に対しまして深いご理解とご支援をいただい

ておりますことにこの場をお借りして感謝を申し上げますとともに、また、皆様方それぞれの地域のお立場で、町内会や地域の安全・安心なまちづくりにご尽力いただいていることに対しましても重ねて感謝を申し上げたい、このように思っております。

今、新千歳空港の利用状況等につきましては、道の交通企画監のほうからご紹介がありましたけれども、昨年度、本当に、新千歳空港は２，４８３万人ということで過去最高を記録したと聞いておりますし、また、それに呼応するように市内の年間の宿泊客者数についても３１万人ということで、こちらも過去最高を記録したということ、本当に新千歳または千歳の活況をありがたい、このように考えているところであります。

また、これにあわせまして、皆さんご承知のとおり、令和５年から次世代半導体ラピダスの進出等によりまして、現在、市内におきましては、工場のパイロットラインの稼働と併せて多くの人流のほうも動いてきておりますし、産業集積なども始まっております。

今後、航空物流の拡大なども期待されているところでありまして、また、今後、政府におきましても、２０３０年に向けて訪日外国人観光客を６，０００万人にするという目標などもありますことから、今後、新千歳空港の重要性ということはますます高まっていく、このように感じているところであります。

また、その一方で、やはり、こういった航空需要に対応するためには、新千歳空港の機能強化ですとか航空人材の確保、育成、また、航路の誘致だとか燃料の調達、様々な課題もありますし、また、それに加えて、交通企画監のほうからお話がありましたとおり、地域の方々の深いご理解、ご支援、こういったものがなければなかなか進んでいかない課題だと、このように考えております。

本日、この後、現在の住宅防音工事等々の進捗状況のご説明があると思いますけれども、この機会に皆様方としっかりと現状や課題などを共有させていただきまして、周辺の住環境対策ですとか、あるいは新千歳空港の安定運用につなげてまいりたい、このように考えておりますので、皆様方の引き続きのご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

最後にもう一つお話しさせていただきたいと思いますが、来年、令和８年度は、千歳の空港開港が１００年という節目の年を迎えます。

大正１５年に空港を当時の村民がつくっていただきましたことが、現在のこの新千歳空港、千歳市の発展につながっております。来年は、ぜひとも市民の皆様とお祝いできる記念すべき年にしたいと考えておりますので、皆様方にもこういった様々な行事等を企画した際には、ご参加賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

結びになりますが、本日、早朝からお集まりいただきましたことに重ねて感謝を申し上げまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしくお願いをいたします。

●千歳市（空港政策課長）　ありがとうございました。

◎事務連絡

●千歳市（空港政策課長）　本日の議題でございますが、（１）新千歳空港における最近の動向について、（２）令和６年度航空機騒音測定結果等について、（３）住宅防音対策の進捗状況等について、（４）地域振興対策の進捗状況等について、（５）新千歳空港周辺地域振興基金について、（６）その他となっております。

次第の下段に配付資料を載せておりますが、資料がお手元にない場合は事務局までお申し出ください。

本日、これらの議題資料につきましては、北海道、北海道エアポート及び千歳市から説明いたします。

また、ご意見、ご質問につきましては、各議題の説明の後、随時お伺いいたしますので、よろしくお願いいたします。

本日の協議会の終了時間につきましては、おおむね１１時３０分頃を目処にしたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

３．議　　事

●千歳市（空港政策課長）　それでは、議事に入ります。

議題（１）新千歳空港における最近の動向について、北海道及び北海道エアポートから説明いたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）　本日はよろしくお願いいたします。

以後、大変恐縮ですが、着座にてご説明をさせていただきたいと思います。

新千歳空港における最近の動向及び近況につきまして、資料１－１及び資料１－２によりご説明をいたします。

１ページ目の資料の１－１、新千歳空港における最近の動向についてをご覧ください。

最初に、資料上段の１、深夜・早朝時間帯における定期便の状況についてでございます。

令和７年８月末までの運航実績について整理しておりますが、今年度につきましては、昨年度より１便多い、１日最大１１便を見込んでいるところです。

次に、資料下段の２、深夜・早朝時間帯における国際臨時・チャーター便の状況でございますが、令和５年度におきましては、韓国が３便、オーストラリアが１便の計４便の運航実績がありましたが、昨年度におきましては運航実績がございませんでした。

道といたしましては、今後も引き続き、深夜・早朝時間帯の発着枠が有効に活用されるよう取り組んでまいりたいと考えております。

新千歳空港における最近の動向に関する道からの説明は、以上のとおりです。

●北海道エアポート株式会社（地域共生担当次長）

常日頃の空港運営に対しまして、皆様のご理解、ご協力に深く深く感謝申し上げる次第でございます。

新千歳空港の近況につきましてご説明申し上げます。

着座にて、お許しくださいませ。

資料１－２、２ページでございますが、まず２０２５年新千歳空港発着便数でございます。

国内路線につきましては、観光需要や帰省需要が順調に伸びる中で、航空会社は各路線の便数をコロナ前の水準に戻したと言えると感じております。

なお、国際路線は、冬季の観光需要の増加に対応するように、韓国、台湾、中国を中心に便数が回復しまして、前年の１．５倍となりまして、過去を上回る便数となっております。

４月以降は前年比１１０％から１４０％で推移いたしましたが、観光の閑散期となりまして、コロナ前の対比では６７％前後に低下してございます。

下段のほうに移ります。

２０２５年新千歳空港旅客輸送実績でございます。

国内線は、２０２４年１０月以降、羽田路線の旅客数がコロナ前とほぼ同水準に回復しました。その傾向は２０２５年も継続いたしまして、国内の旅客数は順調に伸びておりますが、海外乗り継ぎインバウンドを含む旺盛な観光需要が全体を底上げしている状況でございます。

国際線において、北海道の冬季観光に対する海外インバウンド需要は韓国路線が牽引しておりまして、加えて台湾、中国を中心としたアジア圏からの旅行客が大幅に増加してきました。

地上業務の人手不足ですとか燃油輸送体制などの課題解決に向けた取組も奏功したと言えます。

ただし、４月以降はコロナ前対比７０％から８０％に低下し、季節偏差が顕著となっている状況でございます。

北海道エアポートからは以上でございます。

●千歳市（空港政策課長）　ただいまの説明について、ご意見やご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

特にご発言はないでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●千歳市（空港政策課長）　なければ、報告済みとさせていただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

●千歳市（空港政策課長）　ありがとうございます。

ご異議なしとのことですので、議題（１）新千歳空港における最近の動向については報告済みとさせていただきます。

次に、議題（２）令和６年度航空機騒音測定結果等について、北海道から説明いたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）　それでは、令和６年度の民航機の騒音測定結果などにつきまして、資料の２－１から資料の２－３によりご説明をいたします。

初めに、３ページ目の資料の２－１、令和６年度航空機騒音測定結果についてをご覧ください。

千歳市内における航空機騒音の測定局は、北海道が設置しました東郊局などの９局と、千歳市が設置しました青葉丘局などの８局、合計１７局がございまして、これらの測定局で騒音値を測定しているところです。

表の右側には、年間Ｌｄｅｎ値と民航Ｌｄｅｎ値の２種類の数値を記載しております。そのうち、年間Ｌｄｅｎ値とは、自衛隊機を含む全ての航空機騒音を集計した結果となっております。

また、民航Ｌｄｅｎ値とは、自衛隊機の離着陸のなかった日を民航機のみの航空機騒音を測定した日とみなして集計した結果でございまして、本日はこの民航Ｌｄｅｎ値についてご報告申し上げます。

資料の太枠で囲った部分が令和５年度と令和６年度の民航Ｌｄｅｎ値の測定結果となります。

自衛隊機の飛行日を除いた後の集計対象日数が異なることや、気象状況などによりまして算出値が変化する場合などがあることから、単純には比較できませんが、令和６年度におきましては、東郊局など７局において昨年度の値を上回る結果となった一方で、富丘局など８局におきまして昨年度を下回る結果となったところでございます。

なお、全ての測定局におきまして、対策の目安となる環境基準を下回っておりますことを申し添えます。

続きまして、資料４ページ目になりますが、２－２、令和６年度遅延便の深夜・早朝時間帯使用状況をご覧ください。

この資料での遅延便とは、地域の皆様に同意いただいております深夜・早朝時間帯の３０枠以外の便が何らかの理由で出発ないし到着が予定より遅れたことにより、その結果として深夜・早朝時間帯を使用することとなった便のことを指しております。

まず、１の航空会社別の便数についてでございますが、令和６年度の遅延便の合計は７２９便となったところでございます。

航空会社別では、ＡＮＡが全体の５０％を占める３７６便でございまして、続いて、ＪＡＬが前年並みの１９４便、ＡＩＲＤＯが前年からほぼ半減となる１０５便となっておりまして、それぞれ全体の２７％、１４％を占める状況となっております。

次に、理由別の便数でございますが、例年と同様に、天候による遅れが２７５便と最も多く、全体の３８％を占める結果となっております。

次に多いのが機材繰りによる遅れで、２４６便となっております。

各航空会社は、コロナ禍後の観光需要の急な高まりに対応しておりまして、一つの機材で１日に多くの空港間を飛び交うような運航パターンが多い中で、機材の不具合や他空港での混雑などによりまして、いわゆる玉突き遅延が生じ、例えば、２１時台半ばが定刻の羽田行き最終便に使用する機材の到着が遅れ、その結果、２２時を過ぎて新千歳空港を出

発するといったケースが多く発生しております。

天候による遅延につきましては、月ごとの遅延便数を表の下にグラフとして記載しておりますので、紫色で表示されている令和６年度のデータをご覧いただきたいと思います。

例年同様ですが、８月を中心とした夏場と２月を中心とした冬場に多くなっておりまして、夏は雷雨や台風などによる悪天候、冬は降雪などによる遅延が多かったことによるものと考えられております。

続きまして、時間帯別の便数についてですが、例年２２時から２２時１９分の２０分以内の遅延が一番多くなっておりまして、令和６年度も３７７便と、全体の５２％を占めております。

また、１時間以内の遅延でございます２２時５９分までの遅延が全体の約８８％を占める状況となっておりまして、こちらも例年と同じ傾向となっております。

最後に、５ページの資料の２－３、千歳市側と苫小牧市側の着陸の状況についてをご覧ください。

この資料は、千歳市側にあります旭ヶ丘局、苫小牧市側にあります植苗局をそれぞれ代表測定局といたしまして、それぞれの代表測定局の計測値から着陸方向を判断したものでございまして、７時から２１時５９分までの日中と、２２時から翌朝６時５９分までの深夜、早朝の時間帯に分けてカウントしたものです。

新千歳空港を離陸する航空機につきましては、東京方面をはじめ、目的地に向かって南下するものが多く、千歳側から離陸する場合には、離陸後すぐに南向きに旋回して苫小牧側へ向かうことになります。

このため、苫小牧側での測定局でも千歳側からの離陸に係る騒音を測定してしまうケースがございまして、測定値から離陸回数を推定することが大変難しいということで、これまでと同様に着陸回数のみを集計した資料となっております。

上の表は、令和６年度の着陸回数の推計値でございますが、全体で千歳側が３万６，４１８回、苫小牧側が２万１，７４４回であり、比率では千歳側が約６３％、苫小牧側が約３７％となっているところでございます。

時間帯別に見た場合でも、７時から２１時５９分までは千歳側が３万５，１４０回、苫小牧側が２万１，１０８回、また、２２時から翌朝６時５９分までは、千歳側が１，２７８回、苫小牧側が６３６回と、着陸回数の比率はおおむね同じ傾向となっております。

なお、離陸につきましては、先ほどもご説明しましたとおり、計測値から判断することはできませんが、着陸回数から推計すると、離陸回数は苫小牧側が約３万６，０００回、千歳側が２万２，０００回程度と考えられます。

なお、この計測値でございますが、あくまでも航空機騒音に基づいてカウントしておりますので、実数値とは乖離が発生するものであることをご承知おきください。

令和６年度航空機騒音測定結果等に係る説明は、以上のとおりです。

●千歳市（空港政策課長）　ただいまの説明について、ご意見やご質問がございましたら、

お願いいたします。

特にご発言はないでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●千歳市（空港政策課長）　なければ、報告済みとさせていただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

●千歳市（空港政策課長）　ありがとうございます。

ご異議なしとのことですので、議題（２）令和６年度航空機騒音測定結果等については報告済みとさせていただきます。

次に、議題（３）住宅防音対策の進捗状況等について北海道から説明いたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）　６ページの資料３、住宅防音対策の進捗状況等についてをご説明いたします。

まず、上段の１、令和６年度の実績等についてでございますが、千歳市分、表の上段の太枠で囲われた部分をご覧ください。

意向調査で回答があったのは、一般住宅で１，７６０件、１，８０３世帯、集合住宅で１４５件、９６９世帯、合計で１，９０５件、２，７７２世帯となっております。

工事実績につきましてご説明いたしますが、令和５年度までの間に、一般住宅で７６２件、７８８世帯、集合住宅で６０件、４４４世帯、合計で８２２件、１，２３２世帯の工事が行われてきております。

また、令和６年度は、一般住宅で９５件、９７世帯、集合住宅で９件、８２世帯、合計で１０４件、１７９世帯の工事が行われております。

昨年度までの合計につきましては表に記載はしておりませんが、令和５年度までの実績と令和６年度の実績を足すと、一般住宅で８５７件、８８５世帯、集合住宅は６９件、５２６世帯、合計で９２６件、１，４１１世帯の工事が行われ、実施率では件数で４８．６％、世帯数で５０．９％となっております。

また、令和７年度の計画につきましては、一般住宅で１０７件、１１０世帯、集合住宅で５件、２９世帯、合計で１１２件、１３９世帯の工事が行われる予定となっておりまして、現在９１件、１０３世帯が着工済みとなっている状況です。

このことから、今年度末までに一般住宅で９６４件、９９５世帯、集合住宅で７４件、５５５世帯、合計で１，０３８件、１，５５０世帯の工事が終了となる見込みでございまして、実施率は、件数で５４．５％、世帯数で５５．９％となる見込みとなっております。

苫小牧市も合わせました令和６年度の工事実績及び今年度末までの工事見込みについてでございますが、表の下段をご覧ください。

表の工事実績Ｒ６欄の一番下段に記載しておりますが、令和６年度には苫小牧市と千歳市を合わせて１１７件、１９３世帯の工事を実施したところでございまして、表の右側に記載のとおり、令和７年度末までには１，２１０件、１，７５６世帯の工事が完了する予定としておりますことから、実施率は、件数で５４．８％、世帯数で５５．６％となると

見込んでおります。

次に、下段の２、防衛省官舎（寿官舎）に係る防音工事についてをご説明いたします。

令和２年度に防衛省の寿官舎の管理者でございます東千歳駐屯地からの要望を受けまして、個別協議を経て、この地域協議会におきまして令和４年度からの４年間、居室に冷房装置を設置する工事を実施したところでございます。

これまで、各年度の工事件数を平準化することにより、一般住宅防音工事の進捗に影響を及ぼさないよう実施してきたところでございまして、最終年度となる今年度は１２世帯での工事を進めていくこととしております。

次に、７ページ上段の３、令和７年度現地調査（千歳市）についてでございます。

この現地調査は、令和８年度工事のために実施するものでございますが、令和６年度までに、一般住宅２２件、集合住宅１件の合計２３件が既に実施済みとなっております。

今年度は、既に４月に一般住宅３１件、集合住宅１件、７月に一般住宅２８件、集合住宅１件を実施し、９月２日より一般住宅３３件、集合住宅５件を実施する予定となっております。

したがって、千歳市におきましては、現時点で現地調査を１２２件実施する計画となっておりますが、今年度の工事の進捗を勘案しながら、適宜、追加調査の実施も検討する予定となっております。

次に、４の集会施設（町内会館）に係る防音工事についてでございます。

町内会館に係る防音工事につきましては、令和４年８月の地域協議会でご説明しましたとおり、表に記載のとおり、１年に１か所ずつ計画的に工事を進めることとしております。

今年度は若葉会館が対象となっておりまして、既に６月に着工済みとなっております。

ここまで工事の進捗状況についてご説明をしてまいりましたが、皆様ご承知のとおり、毎年度、地域住民の自己都合による工事の先送りが何件か発生しているところです。

本年２月に開催されました勉強会におきましても、Ａ委員からも、工事の進捗を図るために何らかの措置を講じるべきというような趣旨のご意見をいただいたところでございますが、防音工事の進捗を図る上でも対応を検討してきたところでございます。

これまでの経緯もある中、急に取扱いを変えるということは、住民や工事の事業者などの混乱や不信を招くおそれもあることから、財団では、当面の対応といたしまして、工事対象世帯に対し、この事業には公費が使われており、計画的に工事を進めているということ、何らかの事情で工事を希望しない場合には早めに申し出てほしいことにつきまして文書により周知することといたしまして、今年度から実施しておりますことをご報告申し上げます。

今後も、工事の進捗確保に向けて様々工夫してまいりたいと考えておりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

なお、本年度の千歳市におきましては、現時点で、事業者側の都合も含め、様々な理由により１０件以上の工事の先送り事例が発生しておりますが、いずれも別の住宅に振り替

えることができておりまして、現時点では実施計画どおりに工事が進捗しております。

まだ年度途中でございますので、状況が変わる可能性もございますが、あくまでも参考までにお知らせしたいと思います。

また、資料７ページの参考の住宅防音工事の流れと財団の組織体制につきましては、記載内容が昨年と同様でございますので、説明は省略させていただきたいと思います。後ほど内容をご確認ください。

なお､工事予定時期など詳しくは財団までお問合せいただきますようお願いいたします。

住宅防音対策の進捗状況等に係る説明につきましては、以上のとおりとなります。

●千歳市（空港政策課長）　ただいまの説明について、ご意見やご質問がございましたらお願いいたします。

●Ｂ委員　ちょっとお聞きしたかったんですけど、７ページの３の令和７年度現地調査の数というのは、６ページの令和７年計画数の数と同じような感じですか。

●新千歳空港周辺環境整備財団（管理課参事）　６ページの計画数の１１２件、１３９件と計画しています。実際、現地調査に関しては、１１４件、集合住宅が８棟で１２２件、計画よりもちょっと下回っていますが、現地調査に行くと、中には、来年度工事したくない、延期したいとか、いろいろ状況が変わってくるので、そういう状況を勘案しながら、適宜調整して進めていきたいと考えております。

●千歳市（空港政策課長）　恐らく、現地調査は今年度やって、来年度の件数だと思うんですけれども、その辺、今、解釈がちょっと違ったのかなと思ったのですが。

６ページの計画数は、Ｒ７、今年度の計画数になっていますので、７ページの３番の現地調査は、今年度調査して来年度やるという部分になりますので、この数字はリンクしないと思います。

●新千歳空港周辺環境整備財団(管理課参事)　７ページの今年度の現地調査については、例年どおりの進捗率、大体５％ぐらいを見込んで、１１４件、８件の１２２件の現地調査を予定しているところです。

解釈が間違っていました。申し訳ありません。

●千歳市（空港政策課長）　そうですね。７ページの下段のほうに参考と書いているところがまさに防音工事の流れとなっていますけれども、工事の実施前年ということで、４月から９月に現地調査をやりますと、前年にやって、翌年度に右のほうの工事施工をしますというふうに、４月から１２月までとなっています。

この３番目の令和７年度現地調査は、ここで緑のところの現地調査ですね、これは、来年度、令和８年度の工事のための調査ということですので、それが今年度の調査は１２２件やりますというような中身になってございます。

よろしいですか。

●千歳市（副市長）　すみません。もうちょっと私のほうで補足すると、６ページのＲ７計画数って､令和７年度の工事計画数ですね。７ページの現地調査というのは､調査して、

令和８年度に工事する予定の数になるので､恐らく６ページには出てこないのですけれど、ここに来年度、Ｒ８工事計画数というものが出てくれば、そこの調査数とリンクしていくような見方になっていくと思いますので、そのようにご理解をいただければ。

よろしいですか。

●Ｂ委員　はい。

●千歳市（空港政策課長）　ありがとうございます。

では、ほかにご発言などはありますでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●千歳市（空港政策課長）　なければ､報告済みとさせていただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

●千歳市（空港政策課長）　ご異議なしとのことですので、議題（３）住宅防音対策の進捗状況等については報告済みとさせていただきます。

続きまして､議題（４）地域振興対策の進捗状況等について北海道から説明いたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）　地域振興対策の進捗状況につきまして、８ページの資料４によりご説明いたします。

初めに、１の事業の概要等についてでございますが、千歳市の地域振興対策につきましては、毎年２億６，０００万円を１０年間、総額２６億円を積み立てる基金を設置しておりまして、その造成した基金を活用して三つの事業を計画しております。

まず一つ目が、１００万円を上限として生活環境の安定向上に資する追加工事を実施いたします防音機能維持・拡充等対策事業で、もう一つが、Ｃ工法区域の工事をＢ工法にかさ上げする防音機能確保対策事業、そして、各地域の施設を整備する生活環境整備等事業を実施することとしております。

現在、千歳市と財団が主体となって事業を進めているところでございます。

なお、基金の積立ては今年度が１０年目でありまして、造成が完了する予定です。

次に、２の事業の執行状況等についてでございます。

令和６年度につきましては、２億６，０００万円を造成し、約８，３００万円を執行したことから、約１億７，７００万円を繰り越してございます。

今年度は、昨年度と同様、新たに２億６，０００万円を造成し、７，２００万円を執行する予定でありますので、１億８，８００万円を繰り越す見込みとなっております。

現時点での令和７年度末における繰越額の合計は１５億６，５９３万５，５００円となる見込みとなっております。

次に、３の事業の進捗状況等についてでございますが、防音機能維持・拡充等対策事業や防音機能確保対策事業は、先ほど資料３で説明いたしました住宅防音工事とセットで実施することとしておりまして、令和６年度は８０件を実施し、執行額は８，３３４万５，４９０円となっております。

また、令和７年度は現時点で７２件の工事を実施する見込みとなっておりまして、事業

費７，２００万円を見込んでおります。

続いて、生活環境整備等事業でございますが、表に記載のとおり、４地域全ての事業が完了済みとなっております。

道といたしましては、引き続き、事業の円滑な実施につきまして、千歳市、財団とも連携しながら取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

説明は以上のとおりです。

●千歳市（空港政策課長）　ただいまの説明について、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

特にご発言はないでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●千歳市（空港政策課長）　なければ、報告済みとさせていただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

●千歳市（空港政策課長）　ありがとうございます。

ご異議なしとのことですので、議題（４）地域振興対策の進捗状況等については報告済みとさせていただきます。

続きまして、議題（５）新千歳空港周辺地域振興基金について、北海道から説明いたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）　新千歳空港周辺地域振興基金についてご説明をいたします。

９ページの資料５をご覧ください。

１の基金の概要についてでございますが、造成目標額３０億円に対して、令和６年度末の造成済額は１９億５，９７０万円でございます。

そのうち、平成２７年の３０枠合意以降に積み増しした分につきましては、令和３年度までにご協力をいただきました１７社からの総額１億１，７５０万円となっております。

ご寄附いただきました主な企業につきましては、表に記載のとおりです。

２の基金造成に向けた取組についてでございますが、新型コロナウイルス感染症による社会情勢を踏まえ、一時的に企業等に対する個別の協力要請を中断せざるを得ない時期がございましたが、昨年度から寄附要請活動を再開しております。

経済界にも会員企業に対する周知などのご協力をいただきながら、主に空港関連の企業などに対し、基金への協力をお願いしてまいりました。

残念ながら、現時点におきましては、いまだ実際の寄附につながるような成果を上げるまでには至っておりませんが、今後も引き続き、企業等への働きかけを精力的に進めてまいる考えです。

基金の造成目標額の未達成部分に関しましては、基金運用益の見合い分といたしまして、道から財団に１．５％金利見合いの約１，５００万円を補助しておりまして、基金運用益

と合わせて財団から町内会等に交付されております。

なお、令和７年度におきましても昨年度と同額程度が確保されまして、既に関係町内会に配分されておりますことを申し添えます。

基金に関する説明は、以上になります。

●千歳市（空港政策課長）　ただいまの説明について、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

●Ｃ委員　旭ヶ丘町内会のＣです。よろしくお願いします。

主な寄附企業の中にＪＡＬとかＡＮＡとかないですね。というのは、空港を一番使っている航空会社ですもんね。なぜないのかなと思いまして。

●北海道(新千歳空港周辺対策担当課長)　今おっしゃられた企業もあるんですけれども、資料には、主な企業ということで記載しています。実は、公表してほしくないとか、そういう企業もありますので、すみません、今、直接お答えできないんですけれども、そういうこともありまして、全部は記載していないところです。

資料の企業数を数えていただくと、１７社全部は記載していないことが分かると思いますが、そういうことで、申し訳ないです。

企業によって、名前を公表してほしくないとか、金額を公表してほしくないとか、そういうところがあるので、記載していないというところでございまして、今、ご質問にありましたエアラインにも我々としても寄附の協力のお願いをしておりますので、そこはご理解いただければと思います。

●Ｃ委員　分かりました。忘れているんじゃないかと思ったんです。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）　そんなことはございません。

●Ｃ委員　ありがとうございます。

●千歳市（空港政策課長）　ほかにご発言など、ございますでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●千歳市(空港政策課長)　なければ、報告済みとさせていただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

●千歳市（空港政策課長）　ご異議なしとのことですので、議題（５）新千歳空港周辺地域振興基金については報告済みとさせていただきます。

続きまして、議題（６）その他についてですが、千歳市から、新千歳空港における特定利用空港への対応についてご説明いたします。

１０ページ、資料６をご覧ください。

本件につきましては、６月１２日付文書によりまして委員の皆様に概要をお知らせしておりますが、このたび、その内容についてご説明するものであります。

初めに、１点目の特定利用空港・港湾の概要についてでありますが、国は、自衛隊、海上保安庁が、平素から必要な空港、港湾を円滑に利用できるよう、国と施設管理者との間で円滑な利用に関する枠組みを設け、これらを特定利用空港・港湾とし、当該空港、港湾

については民生利用を主としつつ、自衛隊、海上保安庁の航空機、艦船の円滑な利用にも資するよう、必要な整備または既存事業の促進によって、空港、港湾の利便性の確保や機能の強化を図るものとされております。

次に、２点目の全国の選定状況についてでありますが、令和７年４月１日現在、全国で１１空港及び２５港湾が選定されている状況であり、対象施設は図のとおりとなっております。

なお、昨日、８月２９日付けで、３空港、１港湾の追加選定がありました。対象の施設は、山口の宇部空港、仙台空港、青森空港、青森港です。ですので、現時点では、全国で１４空港及び２６港湾が選定されている状況となります。

次に、３点目の国から本市への説明についてでありますが、令和７年６月１１日に国から千歳市及び苫小牧市に対して、国管理空港である新千歳空港を特定利用空港の対象候補として検討しているとの説明がありました。

国の主な説明内容としましては、これまでの空港の運用は変わらず、円滑な利用に関する枠組みの確認は、あくまで民生利用との調整を図りつつ、自衛隊や海上保安庁の利用を適切に取り扱うことを確認するものであり、自衛隊や海上保安庁が優先利用するものではないこと、自衛隊や海上保安庁が空港の状況に精通することで、災害時に迅速な対応が可能となり、その能力を最大限に発揮することが期待できること、インフラの整備は、あくまで民生利用を主とした整備であり、自衛隊や海上保安庁専用の施設を整備するものではないこととされております。

最後に、４点目の本市の対応についてでありますが、新千歳空港は国管理空港であるため、今後の円滑な利用に関する枠組みについての確認は関係省庁間での手続となり、市が連絡･調整体制の構成員とならないことから､地域の不安や懸念が生じることがないよう、市や地域への丁寧な説明と情報提供を行うことを国に対して申し入れております。

説明は以上となります。

ただいまの説明について、何かご発言等はございますでしょうか。

●Ｂ委員　この特定利用空港に選ばれたことによって、市民というか、私たちにはどのような利益というか、いいことがあるのかなというのが分からないんですけれども。

●千歳市（空港政策課長）　まずは、整備が促進されるということで、空港の今の既存の整備、平行誘導路ですとか耐震対策をしていますけれども、それが今まで以上、より一層促進されるということを国は言っています。

それと、円滑な運用ができるということで、災害時とかに、より一層、救助活動とか、そういったものが手厚くといいますか、スムーズにできるということなので、地域の住民にとってもそこはメリットがあるというふうに国のほうでは言っております。

●Ｂ委員　例えば、ＪＲの便を増やすとか、駅がちょっと不便だから、駅のトイレもきれいにしてほしいとか、そういうことにもつながっていきますか。

●千歳市（空港政策課長）　大きな枠組みで言いますと、我々も要望活動を国に対してし

ていまして、新千歳空港の整備を促進して、今、航空需要が伸びていますので、しっかりそれに対応できるような施設整備をしてくださいと言っていますので、そういったものが進んでいけば、例えば、ＪＲの部分も拡張されるとかということにもなりますので、大きな視点ではそういったものにつながるのかなとは思っております。

ほかにございますでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●千歳市（空港政策課長）　それでは、最後に、これまでの議題以外でも結構ですので、皆様から何かご意見やご質問がございましたらお願いいたします。

●Ｄ委員　お疲れさまです。旭ヶ丘町内会のＤでございます。丁寧な説明をありがとうございます。

昨年も一度、ほかの方が質問されたことなんですけれども、物価高騰に伴う工事内容の変更とかそういうものはないんでしょうかという質問がありまして、そのときはまだ想定の範囲内というご返答があったと記憶しております。

あれから約１年たちまして、まだ物価高騰が止まらない上に人件費も上がっている状況です。限度額が決まっている話ですので、工事内容の変更が現状として出てきているのかということをお伺いしたいと思います。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）　今おっしゃられたとおり、物価高騰というのはまだ続いているところなんですけれども、まず、制度的に言うと、工事の単価というところに関しましては､毎年度､防衛省に準拠する形で見直しをやっているというところと、工事の上限につきましても、資材高騰などを考慮して、経費の上限も昨年の４月に改定していますので、もし例えばまたそういう流れがありましたら、我々は防衛省に準拠するというような形を取っていますので、対応していきたいなというふうに思っています。

なので、今のところ、工事の内容について変わっているかと言われると、変わらないでやっていますし、予算については必要額を確保していますので、その辺はご安心いただきたいなというふうに思います。

●Ｄ委員　ありがとうございます。

じゃあ、まだ物価高騰とか人件費の値上がりが続いていますけれども、今後も当面は現状でいけるという認識で大丈夫なんですね。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）　はい。

●Ｄ委員　ありがとうございます。

●千歳市（空港政策課長）　そのほか、ご発言はありますでしょうか。

●Ｃ委員　ご丁寧にご回答をありがとうございます。

旭ヶ丘ばかり質問いたしまして、すいません。住民が結構、関心があるもんですから。代表して来ていますんで。

まず、空港の駐車場ですね。

私も毎月たくさん使うんですけれど、非常に混んでいて、なかなか空港の駐車場に入れ

ないんですよ。もう３０分待ちとか６０分待ちとかで、しまいには離脱して、南の千歳駅に行きまして、そこから電車を乗り継いで行ったこともあるんですけれども、また、駐車場の料金も上がるということが新聞に出ていたもんですから、ぜひ何とか改革して、スムーズに入れるようにしていただきたいなと思っているんです。

以上です、言いたいことは。

●北海道エアポート株式会社（地域共生担当次長）

貴重なご意見、ありがとうございました。

Ｃ委員がおっしゃられたとおり、弊社の管理しております駐車場は、非常に今、台数が多く、並んでいるような満車状態が結構続いておりまして、それをなくすべく、今、検討委員会を立ち上げまして、ちらっと新聞報道でもございましたとおり、社長の発言のとおりで検討を進めているところでございます。

また、混雑時におきましては、臨時駐車場を設けまして、そちらのほうに誘導するですとか、あるいは、寿駐車場とも連携しながら、混雑の解消に向けては鋭意努力しているところでございます。

料金の改定の件につきましても、報道のとおり、混雑の解消策として今検討しておるところでございまして、新たな駐車場建設も検討しておるところです。

喫緊にすぐ解決するような案ではございませんけれども、そういったところを十分弊社は認識しておるところでございますので、解決に向けて鋭意努力してまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

●千歳市（空港政策課長）　そのほか、何かございますでしょうか。

●Ｅ委員　駒里連合会のＥです。

この会、前回ぐらいからしか来てないんで、過去に既に説明があったのかもしれませんけれども、千歳空港に入る航路として、南側の苫小牧側と北側、千歳側、たまに駒里の上を通っていく航路で入っていく飛行機がちょくちょくあると。

これが今後どんどん増えるとか、そういうことがないのかというところだけ。要は、何か、イレギュラーな入り方で、どんどん増えることはないですよというものなのか、いや、もしかしたらどんどん使うかもとか、そういったところを教えていただければなと。

今答えられなければ、次回で構いませんので、要は、駒里はそんなにふだん、飛行機の音はしないですけれども、そのときだけはもう、すごい音がばーっとしますので、それがどんどんこの先増えるのであれば、ちょっと住民の方も心配になると思いますので、そこの調査とかルールを教えていただければと思います。

以上です。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）　一応、今分かっている範囲でお答えしますが、航路に関しましては、ＣＡＢ新千歳空港事務所に確認したところ、現在の飛行コースについては、住宅の地域を避けた飛行経路を設定して、変更などは行われていないということは聞いておりますが、ただ、何らかの理由によりまして、安全確保だとか、いろんな理由

があると思うんですけれども、やむを得ずちょっと違った航路を飛行するということは考えられると思います。

我々、ＣＡＢさんも含めて、関係者が集まって、いろいろ、新千歳空港の関係で意見交換とかする会議がありますので､そういった中で､こういった話がありますということで、できる限りコースを守るように地域の声を伝えていきたいなというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

●Ｅ委員　ありがとうございます。

基本的に、本当に北入りのときの１日１便、２便、そんなレベルなので、何かあったときだろうとは思っているんですけれども、それが既成事実となって次々に増えるというのだけがなければ構いませんので、よろしくお願いいたします。

以上です。

●千歳市（空港政策課長）　そのほか、ございますでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

４．閉　　会

●千歳市（空港政策課長）　ほかにないようですので、以上をもちまして、令和７年度第１回地域協議会を終了させていただきます。

本日は、お忙しいところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。

以　　上